

令和 7 年度
事業報告書

社会福祉法人
薫風会

目 次

令和7年度 事業報告書

項目	拠点名	頁
1	本部	1
2	風の家	6
3	認定こども園ICHIGO	22
4	ANNESSO ICHIGO	38
5	認定こども園SAKURANBO	46
6	かぜの子保育園	60
7	事業報告の附属明細書	66

1 法人本部

(1) 経過報告

年	月	日	内 容
7	5	27	監事監査
	6	27	資産の総額の変更登記
	6	27	役員に関する事項（重任登記）
	7	1	目的等削除の登記（認知症対応型老人共同生活援助事業の経営）
	7	8	一般指導監査（ANNESSO ICHIGO）
	7	15	一般指導監査（書面）（認定こども園ICHIGO及びANNEX ICHIGO）
	7	15	参議院議員選挙の不在者投票実施（風の家）
	8	29	立入調査（かぜの子保育園）※北九州市保育課
	9	4	一般指導監査（認定こども園SAKURANBO）
	9	11	一般指導監査（法人）
	9	18	企業主導型保育施設に対する指導・監査（かぜの子保育園） ※（公益財団法人）児童育成協会
8	2	4	衆議院議員総選挙及び 最高裁判所裁判官国民審査の不在者投票実施（風の家）
	3	10	運営指導（特別養護老人ホーム風の家、風の家ショートステイ）
	3	25	土地所有権に関する登記 （北九州市八幡西区大字本城字西枕崎 3 3 8 4 番 1）売買

(2) 理事会の開催

年	月	日	議 案
7	6	4	1 積立金の積立てについて
			2 令和6年度事業報告について
			3 令和6年度決算について
			4 令和6年度監事監査について
			5 令和7年度補正予算について
			6 次期評議員選任候補者の決定について
			7 評議員選任・解任委員会の委員の選任について
			8 定時評議員会の招集について
			9 認定こども園ICHIGO、ANNEX ICHIGO、ANNESSO ICHIGO及び認定こども園SAKURANBO「育児・介護休業に関する規程」の改正について

年	月	日	議 案	
7	6	21	1	理事長の選定について
	12	17	1	特別養護老人ホーム風の家運営規程の一部改正について
			2	風の家 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
			3	業者選定委員会の設置について
8	3	16	1	役員等賠償責任保険契約について
			2	風の家給与規程の一部改正について
			3	特別養護老人ホーム風の家及び風の家ショートステイ 運営規程の一部改正について
			4	認定こども園ICHIGO、認定こども園SAKURANBO、ANNEX ICHIGO 及びANNESO ICHIGO 運営規程の更新について
			5	認定こども園ICHIGO、認定こども園SAKURANBO、ANNEX ICHIGO 及びANNESO ICHIGO 就業規則、準職員就業規則、嘱託職員就業規則の一部改正について
			6	令和7年度補正予算について
			7	令和8年度事業計画について
			8	令和8年度予算について
			9	評議員会の招集について

(3) 評議員会の開催

年	月	日	議 案	
7	6	21	1	積立金の積立について
			2	令和5年度事業報告について
			3	令和5年度決算について
			4	令和5年度監事監査報告について
			5	令和6年度補正予算について
8	3	28	1	令和6年度補正予算について
			2	令和7年度事業計画について
			3	令和7年度予算について

(4) 評議員選任・解任委員会の開催

7	6	10	評議員の選任について
---	---	----	------------

(5) 法人運営会議の開催

開催日			主な案件
7	4	25	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
			2 理事会及び評議員会（6月開催）の議案等
	5	27	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
			2 理事会及び評議員会（6月開催）の議案等
	6	26	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
	7	24	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
	8	28	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
	9	25	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
	10	29	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
	11	17	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
			2 理事会（12月開催）の議案等
	12	25	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
8	1	29	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
	2	16	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）
			2 理事会及び評議員会（3月開催）の議案等
	3	26	1 定例報告（本部、風の家、認定こども園ICHIGO、ANNESSO ICHIGO、認定こども園SAKURANBO及びかぜの子保育園）

【開催の概要】

1 定例報告

(1) 前月の施設の利用状況

- (2) 事故報告
- (3) 職員に関すること（職員の入退職、重要な異動・昇格等）
- (4) 行事・研修予定及び報告
- (5) 月次会計報告
- (6) 事業計画
- (7) その他

2 出席者

加来茂幸理事長、加来賢大次長・園長

石井久二子施設長、加来香澄園長、事務局長 安達雄二

3 開催場所

風の家 理事長室

(6) 経理勉強会の開催

ア 目 的 各事業所及び法人の経理体制について短期的、中長期的に考える。

イ 出席者 加来賢大・石井久二子・安達雄二・則松佳孝（税理士）

ウ 開催日 令和7年11月4日、12月19日、令和8年1月20日、2月18日

エ 開催場所 風の家 理事長室

(5) 令和7年度事業計画の達成度

ア 令和7年度基本方針に関して

(ア)「事業所の運営管理体制の強化」について

各事業所の施設長及び園長は、職員が法人・施設の理念を基に援助行動ができるように、適時、適切な指導及び助言を行った。利用者及び園児各人の尊厳をまもり快適な環境下での暮らしづくりに取り組みをしていたところであるが、令和7年9月に介護事業所で拘束事案が発生した。この件は、法人全体で共有し、結果的には職員の意識向上につながった。

また、企業主導型保育事業を業務委託し二年目であるが、入園児の確保に苦戦しつつも、徐々に増えている状況である。当法人の二つの認定こども園と小規模保育事業とも連携し、事業の転換や改編等も模索している。

(イ)「適正な人事・労務管理」について

各事業所の施設長及び園長は、事業所内で起きている諸問題について適切に把握し対処した。社会保険労務士からの指導及び助言等を受け、介護職員及び保育職員の適切な福利厚生を充実させた。

また、各種ハラスメントやメンタルヘルスケア等への対応も適切に行った。

(ウ)「リスク管理」について

さまざまな自然災害や感染症等の発生に対する研修会の開催や各種マニュアル類の整備をし、訓練を重ね万全な体制を維持した。今年度は、大きな問題はなかった。

(エ)「財務管理」について

介護事業については、報酬の減算等もあり収支差額に若干マイナスがでたが、子育て支援事業は、堅調な予算執行（補整予算含む。）をし、資金残高を本部や積立金に回すことができた。財務管理については、長期的に将来を見越した経理システム構築のために勉強会を行っている。

(オ)「地域福祉への貢献」

永犬丸・里中及び本城・御開地域を中心に地元の自治区会、校区まちづくり協議会及び市民センター並びに各ボランティア団体などと良好な関係を継続している。

地域の方々へ「介護食」の提供や学童保育の実施などは、未実施となった。

イ 令和7年度事業内容に関して

理事会、評議員会及び監事監査並びに法人運営会議の実施については、適宜開催することができた。

永年勤続表彰を例年どおり行い、さらには、準職員含む全職員へささやかながらプレゼントを行なった。

2 風の家

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
7	5	21	電気設備点検	法定の電気設備点検（停電を伴う）
		27	防災訓練（地震・津波・高潮訓練）	SAKURANBO・かぜの子保育園と合同訓練
	6	11	障害者雇用についての調査	障害者雇用報告についての調査
	7	15	不在者投票	参議院選挙の不在者投票
		29～31	職員健康診断	全職員対象健康診断
	9	4	集団指導	副主任以上でR7年度集団指導の動画を見る
	10	28	秋まつり	施設全体で秋まつりを行う
	12	16	Sコール訓練	無断退去者発生時の対応訓練
		25	防災訓練	夜間想定火災訓練
8	1	複数日	職員健康診断	夜勤者対象健康診断
	2	4	不在者投票	衆議院議員選挙の不在者投票
	3	10	介護保険法に基づく運営指導	特養・ショート対象

イ 見学者（1件）

年	月	日	見学者（団体名）	内容
8	2	22	若松地区民生委員6名	高齢者施設について

(集計)

(単位：件)

団体区分	特養	他施設	地域住民	学校	行政	その他	合計
件数	0	0	0	0	0	1	1

(単位：件)

見学目的	施設新設	ユニットケア	全般	その他	合計
件数	0	0	1	0	1

ウ 地域交流（１１件）

年	月	日	概要	内容
7	6	13	本城校区まちづくり協議会総会	総会に職員が参加
		19	本城校区まちづくり協議会	定例会議に委員として職員1名が出席
	7	13	和が家運営推進会議	運営推進会議に委員として職員1名が出席
	8	28	本城校区まちづくり協議会	定例会議に委員として職員1名が出席
	9	14	和が家運営推進会議	運営推進会議に委員として職員1名が出席
	10	2	本城校区まちづくり協議会	定例会議に委員として職員1名が出席
	12	3	本城校区まちづくり協議会	定例会議に委員として職員1名が出席
		4	和が家外部評価委員会	地域福祉関係者として職員1名が出席
8	1	11	和が家運営推進会議	運営推進会議に委員として職員1名が出席
	2	19	本城校区まちづくり協議会	定例会議に委員として職員1名が出席
	3	8	和が家運営推進会議	運営推進会議に委員として職員1名が出席

エ 施設外研修（１８件、延べ３４人）

（単位：人）

年	月	日	研 修 名	テーマ・内容・目的等	開催場所	主催者	人数
7	5	19	令和8年度高校卒業者求人掲載	令和8年度の高校卒業者求人の掲載に関する研修	黒崎ひびしんホール	ハローワーク	1
		28	認知症介護基礎研修	介護職を始める為、介護の基礎を学ぶ	WEB研修	認知症介護基礎研修eラーニングシステム	1
	6	20	北九州市障害者雇用アドバイザー	企業見学	TOTO	北九州障害者雇用アドバイザー派遣事業	1

年	月	日	研 修 名	テーマ・内容・目的等	開催場所	主催者	人数
7	7	29	感染症について	感染症について コロナの振り返り	戸畑総合病院	戸畑総合病院	2
	8	22	高齢者の虐待の推進～利用者の「嫌だ」という権利を考える	高齢者虐待について	WEB研修	介護の職場環境改善セミナー	1
		26	「人」が社会の未来を創る！人的資本経営セミナー	人事戦略に着目した人的資本経営	西日本総合展示場	北九州市	1
	9	5	身体拘束について	身体拘束適正化	WEB研修	介護の職場環境改善セミナー	1
		24	健康保険委員研修会	メンタルヘルス 出産・育児に関わる社会保険手続きと法改正	AIM（北九州観光コンベンション協会）	全国健康保険協会	1
	10	1～3	応急手当普及員研修	普及員としての知識と技術習得	市民防災センター	北九州市	2
		15	「人」が社会の未来を創る！人的資本経営セミナー 主婦・シニア層の活躍	労働市場予測と対策 プロフェッショナル人材活用セミナー	コムティー	北九州市	1
	9～10	複数日	認知症介護実践者研修	認知症の理解	ウエル戸畑	北九州市	1
	11	14	BCP研修・訓練について	災害を知り、正しく恐れること。	WEB研修	介護の職場環境改善セミナー	1
		25	BCP研修・訓練について	災害時の備えと感染症対策	WEB研修	介護の職場環境改善セミナー	1

年	月	日	研 修 名	テーマ・内容・目的等	開催場所	主催者	人数
7	12	19	カスタマーハラスメント対応セミナー	ハラスメントとは	WEB研修	介護の職場環境改善セミナー	2
		16	新人の育て方とチーム作り	新人の育て方とチーム作り	WEB研修	介護労働安定センター	2
8	1	17	認知症介護基礎研修	介護職を始める為、介護の基礎を学ぶ	WEB研修	認知症介護基礎研修eラーニングシステム	1
		10	「言語的・非言語的伝達」	認知症の方とかかわる時の伝達の難しさ	WEB研修	介護の職場環境改善セミナー	7
		14	縛らないケアの意味と実践	身体拘束について学ぶ	WEB研修	介護の職場環境改善セミナー	7

オ 施設内研修（23件、延べ1,039人）

（単位：人）

年	月	日	研 修 名	テーマ・内容・目的等	人数
7	4	複数日	感染症について	高齢者施設における感染症対策	72
			感染症BCP研修・訓練	感染症拡大時のBCP研修と訓練	72
	5	22	プライバシー保護に関する研修	プライバシーに関する研修	24
		27	災害時BCP訓練	高潮想定時のBCP訓練（食材等の準備）	32
	6	複数日	ターミナルについて	高齢者施設におけるターミナルとは	72
			災害BCP研修	災害時のBCPとは	80
		26	理念・倫理・法令遵守・プライバシーについて	理念・倫理・法令遵守とは プライバシー保護とは	24

年	月	日	研 修 名	テーマ・内容・目的等	人数
7	7	24	認知症について	認知症の方への対応法	24
	8	28	医療に関する研修・褥瘡	褥瘡について	14
	9	25	高齢者虐待防止・身体拘束について	高齢者虐待・身体拘束廃止に向けて グループワークと理解度チェック	41
	10	9			65
		6			11
	11	27	感染症及びまん延防止について研修と訓練	感染症について・発生時の対応方法	60
			高齢者の身体のしくみ	呼吸管理 感染症・食中毒について	16
	12	複数日	精神的ケアに関する研修	ターミナル・悲嘆の援助	82
		25	リスクマネジメント・事故発生防止のための研修	リスクマネジメント・事故防止	16
8	1	複数日	緊急時の対応	緊急時の対応と心構え	90
	2	26	BCP研修・訓練（感染・災害）	災害時の備えと感染症対策	72
			感染症及びまん延防止について研修と訓練	感染症及びまん延防止・感染症発生時の訓練	72
	3	複数日	高齢者虐待防止・身体拘束の排除の取組に関する研修	高齢者虐待・身体拘束廃止に向けて グループワークと理解度チェック	93
7	4	5	新人研修	・労働条件等説明 ・感染症、食中毒について ・法人、施設運営理念 ・身体拘束、高齢者虐待について ・BCP（災害・感染症）について ・ノーリフティングについて ・認知症について ・事故防止について	1
	6	5			2
	10	7			4

カ 実習生の受け入れ状況（1件10人）

（単位：人）

職種	学校名	受け入れ施設	人数
教員養成課程・介護等体験	福岡教育大学	特別養護老人ホーム	3
	山口短期大学 博多キャンパス	特別養護老人ホーム	1
	九州女子大	特別養護老人ホーム	6

(2) 施設の利用状況

ア 特別養護老人ホーム (利用定員：140人)

(ア) 在籍者数 (年間目標在籍者数：138人)

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
新規入所者数	3	2	2	3	2	4	3	0	4	1	4	2	30	2.5
退所者数	4	0	1	3	4	2	1	1	4	4	3	5	32	2.7
平均在籍者数	134.9	136.5	138.5	137.6	137.3	137.0	139.0	139.1	138.0	137.7	136.5	134.6	1,647	137.2

(イ) 新規入所者の状況

状況	人数	(単位：人)
自宅から	8	
SS長期利用後	5	
老健から	4	
病院から	8	
有料その他	5	
計	30	

(ウ) 退所者の状況

状況	人数	(単位：人)
施設にて死亡	22	
病院にて死亡	5	
長期入院	5	
その他	0	
計	32	

(エ) 平均在所者数 (年間目標在所者数：135人)

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
人数	130.7	132.6	134.1	132.9	134.2	134.0	136.0	135.5	129.5	131.2	133.6	131.3	133.0

※在籍者より、外泊者を除いた数

(オ) 1日平均外泊者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
人数	4.2	3.9	4.4	4.7	3.2	3.0	3.0	3.6	8.4	6.3	2.8	3.3	4.2

(カ) 外泊者数のうち入院者数

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入院者実数	12	13	7	6	8	5	9	8	14	12	7	6	8.9
1日平均入院者数	4.2	3.9	4.4	4.7	3.2	3.0	3.0	3.6	8.4	6.3	2.8	3.3	4.2

(キ) 平均年齢及び平均介護度 (年間平均)

平均年齢：87.0歳

平均介護度：3.41

イ ショートステイ（利用定員：１０人）

（ア）１日平均利用者数（年間目標平均利用者数：７．５人）（単位：人）

区分	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	平均
１日平均利用者数	7.4	7.7	7.5	7.7	7.1	7.8	7.1	7.1	6.7	6.5	8.1	7.3	7.3
１日平均入所数	1.6	2.0	1.8	1.7	1.6	1.6	2.0	2.1	1.8	1.7	1.8	1.4	1.8
１日平均退所数	1.7	1.8	1.9	1.6	1.6	1.7	1.9	2.1	1.9	1.7	1.7	1.6	1.8
１日平均宿泊数	5.7	5.9	5.5	6.1	5.6	6.1	5.1	5.1	4.8	4.8	6.4	5.7	5.6

（イ）月間利用者数（単位：人）

区分	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	平均
新規利用者数	5	8	7	7	10	2	6	6	7	5	5	1	5.8
月間利用者数	28	33	37	32	31	31	36	37	41	35	32	32	33.8

（ウ）平均年齢及び平均介護度（年間平均）

平均年齢：８７．８歳

平均介護度：２．７

（エ）曜日別利用者数

（単位：人）

区分	月	火	水	木	金	土	日
利用者数	7.5	6.1	6.3	7.0	7.9	8.2	8.4
入所	1.0	1.5	1.9	1.9	2.4	2.2	1.4
退所	2.9	1.8	1.4	1.8	1.9	1.1	1.9
宿泊数	4.6	4.6	4.9	5.6	6.0	7.1	6.5

（オ）月間利用日数別人数

（単位：人）

日数	１日～５日	６日～１０日	１１日～１５日	１６日～２０日	２１日～２５日	２６日以上
人数	19.7	8.7	2.4	1.1	1.3	0.7

（カ）月間利用回数別人数

（単位：人）

回数	１回	２回	３回	４回	５回	６回	７回以上
人数	20.9	6.7	2.7	1.5	1.9	0.0	0.1

（キ）地区別人数

（単位：人）

地区	八幡西	若松	八幡東	中間	水巻町	遠賀町	戸畑	他
人数	20.8	11.1	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	1.1

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立 (12件)

年	月	事業	申立者	内容	改善内容等	結果
7	6	特別養護老人ホーム	家族	部屋に本人がいなかったとしても、エアコンとテレビを消さないで欲しいと何度もお願いしているが私（ご家族）が来所した時はいつも消えている。	サポーターも含めスタッフ一人一人に今回の件を伝え周知徹底を図ると共に、テレビ、エアコンの電源ボタンの部分に警告シールを貼り、消すことがないようにした。	納得いただいた。
	8	特別養護老人ホーム	家族	臥床位置に関して、体位変換時にベッド中央に寄せておらず、右側に寄っていたため、腕が柵とベッドの間に挟まってしまった。除湿器の電源が切れていた。肌着がズボンに入っておらず、お腹が出ていた。	正しい位置でのポジショニングとクッションの使用を指導。また除湿器の使用方法的確認、パット交換後の更衣の確認の徹底の指導をした。	納得いただいた。
		特別養護老人ホーム	家族	面会時に、「ご本人が立ったり座ったりするので、床に座らせている」と言われ、床に座らせられていた。テーブルに手をつき、膝を付いた状態だったと。動きがあるから座らせるというのは身体拘束ではないのか。	ご本人さんが自由に動くことができるように床に座っていただいていることを説明したが、納得いただけなかった。説明した職員に、伝える事の重要性の指導を行った。	他ユニットに転室してもらうことで納得いただいた。
	10	特別養護老人ホーム	家族	天井にカビが多く出て、みんなご飯を食べるところだから、呼吸器の病気も心配だから、下で意見用紙に書いた。	営繕職員が天井の修繕を行い、カビを除去した。しかし、結露や雨漏り等の直接整備は難しく、今後も黒い状態を見た際に都度修繕して貰うようにする。	納得いただいた。
		特別養護老人ホーム	家族	先日の雨で天井にカビらしきものがあり気になったのですが、すぐ対応して下さり有難うございました。	環境面に関しては継続的に確認を行い、修繕が必要な場合は事務・営繕と情報共有しご家族に説明する。	納得いただいた。

年	月	事業	申立者	内容	改善内容等	結果
7	10	特別養護老人ホーム	入所者	サポーター1名が居室に入る時ノック等もせず、何も言わずズカズカ入ってくる。シーツ交換や洗濯物を頼んでも「勤務が17時までなので出来ない。」と言われた。最初の時から不愛想で、その日だけ機嫌が悪いだけかと思ったが、変わらなかった。迷惑を掛けると思うけど他の人に変更して欲しい。	担当サポーターを変更する。その後苦情なく過ごされている。サポーター本人は前述の事実はないとの事。しかし基本的な接遇にも関わっているので十分な指導をした。	納得いただいた。
		特別養護老人ホーム	家族	本人が「夜勤の男の人に、『早くして』と言われお尻をぺしんと叩かれた」と言っている。「前は優しかったのに」とも言っている。	当該スタッフに聞き取りをすると、「ご本人の介助中に他の利用者のアラートがなり、早く行かなければと焦ったため、介助を急ぎ雑になってしまったが叩いてはいない」とのこと。目の前のご利用者のことを確実に丁寧にケアすることを指導した。ご家族には暴言や叩いたという事実は否定し、居室にカメラを設置することとなった。	納得されず、次の苦情報告に続く。
		特別養護老人ホーム	家族	(上記の苦情について、男性スタッフからの聞き取り内容を説明し、し暴言や叩くという事実はなかったと伝えるが) 納得できない。隠しているのではないか。対象の職員がいることが不安。	カメラを設置し、適切な対応でケアを行っていることを確認して頂く。また今後、ご家族に不安を感じる発言があった場合、カンファレンスを開催し、説明を行っていく。	ご家族面会時に、ご本人の訴え等の確認を行う。その後は訴え等もなく、安心されている。また何かあれば連絡してもらうこととする。

年	月	事業	申立者	内容	改善内容等	結果
7	11	特別養護老人ホーム	家族	施設の方からタンスの準備をしてほしいと言われるが、どこで買えばよいかわからず、また洗濯物について、かさばるものは控えてほしいと言われるが、厚手の物を準備しているのですがと話される。ぶっきらぼうな言い方で、説明も不十分だったと。	ご家族様との関係性構築、接遇、報告事項の具体的説明について指導した。	納得いただいた。
	11	特別養護老人ホーム	家族	ご家族ムンテラ希望で来所されたが、ムンテラ予定になっていなかった。	ご家族への連絡は都度行うように指導。また、多職種間で情報共有する。	納得いただいた。
8	2	特別養護老人ホーム	入所者	(特定の職員が) ご飯を食べ終わっていないのに薬を持ってくる。入浴時に衣類の準備を勝手にし、タンスをあさる。他の職員と異なったケアをする等、ご本人の要望を聞き入れない。	当該職員に対し、ご本人の要望に沿ったケアの実施の指導。その際、ブロックでのケアの統一の確認、実施。	納得いただいた。
		ショートステイ	家族	入所中に熱発、退所後、受診され骨折にて入院されたご利用者で、体調不良の報告(ほぼ熱発)をご家族にしていたが、入院まで至ったことに対して謝罪をすると、「皆さん言う事が違うのでその点は統一して下さい。」と言われる。	入所後、状態観察、及びそれに即した適宜の報告がなかったことについて指導する。また、対応スタッフを決め、報告した内容は記録に残し、他のスタッフでも把握できるようにした。	納得いただいた。

イ 第三者委員への苦情申立 なし

ウ 行政への苦情申立 なし

エ 意見箱にいただいた意見（6件）

年	月	内容	回答
7	4	みんな人が優しく、親切な人ばかりで、来ても幸せな施設です。	お褒めの言葉いただき、ありがとうございます。スタッフ一同励みになります。いつもスタッフに優しい言葉をかけて下さり、お互いを思いやる気持ちが伝わっているように感じてとても嬉しく思います。今後も皆様に楽しく穏やかに過ごしていただけるよう努めて参ります。
	6	共同トイレの一つでもウォシュレットが欲しいです。ショートステイの利用中気付いた事。宜しく願います。	この度は貴重な意見ありがとうございました。ご意見をいただき、施設内で協議を行い設置の許可が出ました。現在発注を行っており、近日中に取付予定です。施設をご利用して頂いているご利用者様の意見、大変基調でありました。今後ともお気づきの点ございましたらお気軽にお申し付けください。
	7	2Bブロックのスタッフの方々には、よくお世話して声掛けしてくださり、感謝しています。この前のカンファレンスはとても分かりやすかったです。ありがとうございます。	この度はお褒めの言葉ありがとうございます。今後もこのように思っただけのようにスタッフ一同ご利用者様に関わりながら楽しく、穏やかに過ごして頂けるように支援して参ります。
	10	いつもお世話になります。入居者が食事する天井にカビが多く出ています。呼吸器の病気を心配します。至急取り除いてください。よろしくお願いします。	今回設備に関して不快、不安な気持ちにしまい申し訳ありませんでした。すぐに確認後、カビ取りと補修を行いました。今後利用者様のいらっしゃる環境の整備もしっかりと行いながら、安心安全に暮らして頂けるようにして参ります。
8	1	いつも大変お世話になり、ありがとうございます。副主任さん、担当さんをはじめ、皆さん優しく行き届いた介護をしてくださるのでとても助かり、感謝しております。先日の大雨で、天井にカビらしきものがあつたのが気になったのですが、すぐ対応してくださり、ありがとうございます。	お褒めの言葉ありがとうございます。今後ご利用者様が楽しく穏やかに過ごして頂けるように努めて参ります。天井のカビの件ですが不快な気持ちにさせてしまい申し訳ありませんでした。他のご家族様もきにされていらっしゃり、すぐに清掃が入りました。環境整備にもしっかりと取り組んで参ります。
		リビングのテレビがBSしか映りません。紅白も見れなかった。	貴重なご意見ありがとうございます。テレビの不調において、ご迷惑をおかけしました。何度か修繕しましたが、直らず、テレビを早急に交換いたしました。

(4) 事故報告

ア 総件数 (単位：件)

分類	件数
事故総数	519
うち損害あり	282
うち行政報告あり	26

イ 事故の内容 (単位：件)

内容	事故	インシデント	合計
転倒	120	32	152
転落	78	12	90
異食	7	3	10
不明	0	0	0
誤薬・与薬もれ等	64	12	76
誤嚥・窒息	8	2	10
医療処置関連（チューブ抜去等）	2	0	2
感染症（インフルエンザ等）	0	0	0
食中毒	0	0	0
交通事故	0	0	0
徘徊	1	43	44
接触	81	0	81
職員の違法行為・不祥事	0	0	0
事業所の災害被災	0	0	0
その他	36	18	54
合計	397	122	519

ウ 事故結果 (単位：件)

内容	件数
異常なし	237
打撲・捻挫・脱臼	108
切傷・擦過傷	68
骨折	15
その他	91
合計	519

エ 行政報告事故（26件）の詳細

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
7	4	6	転倒	骨折（右上腕部）	総合病院受診、入院・手術
		16	転落	骨折（右上腕部）	総合病院受診、入院・手術
		23	転落	打撲（左前腕部）	整形外科受診、湿布処方
		30	転倒	顎裂傷	整形外科受診、縫合・鎮痛剤処方

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
7	5	8	転倒	骨折（脊柱左14番）	整形外科受診、鎮痛剤処方・コルセット
		11	転倒	打撲（頭頂部・右手関節）	総合病院受診、鎮痛剤・湿布処方
		17	転倒	骨折（右大腿部）	総合病院受診、入院・手術
	6	2	転倒	骨折（右大腿骨頸部）	総合病院受診、入院・手術
		18	転倒	脱臼（右拇指IP関節）	整形外科受診、整復術にて固定
	7	28	転倒	裂傷（右眉尻）	整形外科受診、4針縫合
	8	5	転倒	打撲（右大転子部）	整形外科受診、湿布処方
		19	接触	打撲（左下腿部）	整形外科受診、湿布処方
		26	転倒	骨折（左足第3・4指）	整形外科受診、保存的療法
	9	1	転倒	骨折（左大腿骨頸部）	総合病院受診、入院・手術
		4	誤嚥・窒息	死亡	総合病院救急搬送 死亡
		29	転倒	骨折（左大腿骨頸部）	総合病院受診、入院・手術
	10	9	接触	骨折（右脛骨・腓骨・中足骨）	整形外科受診、シーネ固定
		11	転倒	骨折（左橈骨・尺骨）	整形外科受診、シーネ固定
		28	転落	骨折（右大腿骨頸部）	総合病院救急搬送、入院・手術
	11	4	誤嚥・窒息	死亡	総合病院救急搬送 死亡
	12	10	接触	骨折（右頭頂骨）・脳挫傷（外傷性クモ膜下出血）	総合病院受診、入院
		19	転倒	骨折（左肋骨）	整形外科受診、バストバンド固定
8	1	31	転倒	骨折（腰椎圧迫骨折）	総合病院受診、入院
	2	4	転倒	骨折（胸椎圧迫骨折）	整形外科受診、コルセット
		18	誤嚥・窒息	誤嚥	総合病院受診、抗生剤・去痰剤処方
	3	6	転落	切傷・擦過傷	整形外科受診、右眉部4針縫合、抗生剤・鎮痛剤処方

(5) 令和7年度事業計画の達成度

ア 令和7年度基本方針に関して

(ア)「介護の質の向上」について

前年度以前からの継続テーマである、「基本理念の理解、共有」、「利用者の『納得いく人生』を支援するケア」、「認知症についての理解」、「情報共有の充実」について、令和7年度は、現場リーダー（副主任）主体での取り組みを行った。コロナ禍以降中止していた集合研修による施設内研修を復活させ、その中で職員同士の話し合いの場を多くもったことで、より一層職員の理解が進んだと感じている。

この取り組みの最中、令和7年9月に、特別養護老人ホームにおいて、一職員が風の家では全面禁止としている拘束（具体的には入浴時の掻きむしりを防ぐために手に保湿剤のボトルを握ってもらいその上にガーゼを巻き付けたもの）を行ったという事案が発生した。これを受け、身体拘束や高齢者虐待についての実態調査や全員参加の研修会の追加開催などを行った。施設全体で危機感を持ち取り組んだこともあり、結果的には職員の意識向上を図ることができた。

ノーリフティングケアについては、令和7年度も、「福岡県ノーリフティングケア普及促進事業」のアドバイザー施設としての活動を継続した。

また、令和4年度から行っている「北九州モデル」（ICT化・介護ロボット等を活用した介護現場の業務改善手法）に基づいた業務改善の一環として、令和6年度終わりに記録ソフトの入れ替えを行い、記録の音声入力を基本としたことで、記録にかかる時間が短縮され、その時間を利用者と楽しむ時間にあてることができた。

令和7年度から、新型コロナ対策で行っていた生活上の制限を撤廃したことで、施設内行事や外出行事を積極的に行うことができ、利用者に生活を楽しんでいただく機会を増やすことができた。

(イ)「家族対応の充実」について

新型コロナ対策の面会制限も撤廃したことで、利用者と家族、家族と職員の距離を近づけることができた。

(ウ)「食事サービスの充実」について

少しでもおいしい食事を提供できるよう工夫を続けた。また、季節に合わせた行事食の提供も続けた。

令和7年度の新たな取り組みとして、ユニット内で特別な食事を給

食職員が調理しふるまう行事を開始し、日常とは違う雰囲気を楽しんでいただくことができた。

(エ)「感染症対策の充実」について

手洗い・手指消毒・換気に重点を置いて、感染予防を継続した。今後も、新型コロナウイルス感染症だけでなく、他の感染症も視野に入れ、平常時の感染対策を継続していきたい。

(オ)「管理体制の充実」について

各種マニュアルの見直しを行い、業務継続計画に基づく研修や訓練も実施した。

(カ)「経営の効率化」について

将来の介護従事者不足に備え、DX化や介護ロボットの活用について積極的に情報収集し、取り組みを継続した。

(キ)施設からの情報発信

HP（ホームページ）やSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を通じて、施設の考え方、日常の風景などの発信を継続した。

イ 令和7年度事業内容に関して

(ア) 特別養護老人ホーム

a 年間利用者数について

1日平均在籍者数目標を138名、1日平均在所者数（外泊等を除く数）目標を135名に設定していた。実際には、1日平均在籍者137.2名、1日平均在所者133.0名と、目標には達しなかったが、昨年よりは平均在籍者1.5名分、平均在所者0.2名分増加した。

退所者数と同等の新規入所者数はあったが、冬季、入院者が激増したことで平均在所者数があまり伸びなかったと考えられる。

また、年々待機者数が減少してきている傾向があるが、反面、今困っておられる方に速やかに対応できるということでもあるので、ショートステイとも連携し、機動的な対応をとっていきたい。

b 事業内容について

令和7年度は、令和6年度に行った介護助手の導入、記録ソフト等の入替え、介護用浴槽の新設などを活用した業務改善を継続し、職員が利用者と向き合う時間を増やすことに本格的に取り組んだ。また、新型コロナ対策による制限を撤廃し、利用者の日常的な楽しみを増やし、季節感のある行事も復活することができた。

(イ) ショートステイ

a 年間利用者数について

令和7年度は、平均利用者数7.3名（稼働率73%）と、目標の75%には達しなかったが、昨年度実績より1名分増加させることができた。

新規利用者が1か月平均5.8名と昨年度2.2名増えていることから、居宅支援事業所や病院等への積極的な働きかけが功を奏したと思われる。

今後はサービスの質の向上を図り、新規利用者の継続利用に力をいれる必要があると考えている。

b 事業内容について

新規利用者、1日平均利用者が増えたことで、情報の整理に終わることが多かったが、イベント食を積極的に提供するなど、ショートステイでの生活を楽しんでいただく工夫も行った。

今後は、利用者の希望の強いリハビリプログラムの実施や、レクレーション活動の増加など、「楽しいショートステイ」の取り組みに力を入れていきたい。

3 認定こども園ICHIGO

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
7	4	1	辞令交付式	4月1日付採用職員に対する辞令交付式
	8	8	ICHIGO・ANNEX ICHIGO指導監 査	北九州市子ども家庭局による指導監査（合同）

イ 行事

年	月	日	行事	内容
7	4	1	入園進級式	園児のみで開催
		18	春の遠足	5歳児・4歳児 割子川せせらぎ公園 3歳児・2歳児（I/A）北筑2丁目公園 1歳児（I/A）・0歳児（I/A）今池電停
		26	ICHIGOキッズ Festival (3施設合同)	ゲーム：くじ引き・魚釣り・わなげ・ボール投げ 飲食物：カレー・ポテト・フランクフルト・飲み物 ステージにて出し物を行い、祭り気分を味わう
	5	1	クッキング	3歳児 ピザトーストを作りを楽しむ
		1	園児対象 健康診断	嘱託医：永犬丸小児科院長 金先生 ANNESSO・ANNEX・0歳児・1歳児・2歳児の健康診断 を行う
		19	園開放 (保育参観)	5歳児・4歳児 体操教室 3～0歳児 通常保育（I/A）
		22		5歳児・4歳児 英語教室 3～0歳児 通常保育（I/A）
		23		5歳児～0歳児 通常保育（I/A）
		28	ギラヴァンツ サッカー教 室	サッカーを通して体を動かす楽しさやルールを学ぶ (4・5歳児)
		29	園児対象 健康診断	嘱託医：永犬丸小児科院長 金先生 3歳児・4歳児・5歳児の健康診断を行う

年	月	日	行事	内容
7	6	6	お泊り保育 (5歳児)	海の中道海浜公園へバスで遠足に行く シャワー、夕食を済ませ、お楽しみ会に参加する。 園庭で打ち上げ花火を見て就寝
		7		
	7	13	七夕まつり 笹飾り	七夕の由来を説明し、笹飾りに願い事をする
		7	歯科検診	4歳児・5歳児対象 でぐち歯科こども歯科医による検診を行う
	8	23	運動会	ICIHGO・ANNEX合同で未満児のみICHIGOのホールにて運動会を行った
	9	2	プール開き	全園児で集まり、プール活動での約束事を確認し予定表通りプール活動をする
		4	健康診断	嘱託医：永犬丸小児科院長 金先生 0歳～2歳児（ANNEX含む）までの健康診断を行う
		11	健康診断	嘱託医：永犬丸小児科院長 金先生 0歳～2歳児（ANNEX含む）までの健康診断を行う
		16	敬老の日	年長児が敬老の日のプレゼント理事長へを渡す
		26	水かけまつり	ANNEX…ANNEX園庭 ICHIGO 0歳児・1歳児…テラス ICHIGO 2・3・4・5歳児…屋上 時間を分け、熱中症に注意しながら行う
		30	人形劇	「からこま座」の方が来て全園児が人形劇を観る
	10	11	秋の遠足	5歳児・4歳児・3歳児 2歳児(A) 1歳児(A)・0歳児(A)
		30	ハロウィン	仮装をし、各クラスを巡回して記念撮影を行う
		31	芋ほり	5歳児が芋ほりを行う(雨天のため中止)
	11	12	焼き芋	焼き芋大会
		22	お遊戯会	クラス入れ替え制で0～2歳児・ANNEX合同で行う
		28	永犬丸小学校 おもちゃフェスティバル	年長クラスが小学校へ行き2年生との交流をする (第二文化幼稚園も参加)

年	月	日	行事	内容
7	12	13	お遊戯会	クラス入れ替え制で3～5歳の演目を行う
		17	キラヴァンツ サッカー指導	サッカーを通して体を動かす楽しさやルールを学ぶ (4・5歳児)
		24	クリスマス会	全園児でクリスマス会を行った
	1	16	クッキング	食育の一環として、4歳児・5歳児がチキンカレーを作り、食べた。
		-	個人懇談	希望制にて懇談を行う
	2	3	節分(豆まき)	折尾神楽が来園し、各クラスで豆まきをした
		6	お別れ遠足	到津の森公園に行き動物に触れあい、お弁当を食べた
		28	保育参観	全園児が作った商品を年長児が販売し、各クラス順番に買い物ごっこを楽しむ。 5歳児 等身大の自分(制作) 4歳児 積み木遊び 3歳児 紙コップ玩具(制作) 2歳児 絵カード遊び 1歳児 シール貼り・運動遊び 0歳児 運動遊び A2歳児 風船わんわん(制作) A1歳児 風船わんわん(制作) A0歳児 風船わんわん(制作)
		3	ひなまつり	ひな人形について話をし、各クラスひなまつり制作を発表する。
		15	卒園式	プレイルームで卒園式を行った
		19	お別れ会	在園児と卒園児とのお別れ会を行った
		31	修了式	在園児の修了証書授与式を行った
8	1	16	クッキング	食育の一環として、4歳児・5歳児がチキンカレーを作り、食べた。
		-	個人懇談	希望制にて懇談を行う
		3	節分(豆まき)	折尾神楽が来園し、各クラスで豆まきをした
		6	お別れ遠足	到津の森公園に行き動物に触れあい、お弁当を食べた
	2	28	保育参観	全園児が作った商品を年長児が販売し、各クラス順番に買い物ごっこを楽しむ。 5歳児 等身大の自分(制作) 4歳児 積み木遊び 3歳児 紙コップ玩具(制作) 2歳児 絵カード遊び 1歳児 シール貼り・運動遊び 0歳児 運動遊び A2歳児 風船わんわん(制作) A1歳児 風船わんわん(制作) A0歳児 風船わんわん(制作)
		3	ひなまつり	ひな人形について話をし、各クラスひなまつり制作を発表する。
		15	卒園式	プレイルームで卒園式を行った
		19	お別れ会	在園児と卒園児とのお別れ会を行った
		31	修了式	在園児の修了証書授与式を行った
	3	3	ひなまつり	ひな人形について話をし、各クラスひなまつり制作を発表する。
		15	卒園式	プレイルームで卒園式を行った
		19	お別れ会	在園児と卒園児とのお別れ会を行った
		31	修了式	在園児の修了証書授与式を行った

※定例行事

毎月1回実施 避難訓練・誕生会

硬筆(年24回実地)英語で遊ぼう(年24回実地)体操教室(年30回実地)

毎週2回 リーダー会議 毎月1回 職員会議

随時 行事の際に職員会議 計画的に個人懇談会

ウ 地域交流等

(ア) ボランティア・職場体験・一日保育士体験

年	月	日	行事	内容
7	8	20	一日保育士体験	小学校教諭2名(2年生担任)が一日保育士体験を してもらおう。その後、座談会をおこなう。

(イ) 地域交流

a 一緒に遊びましょう 5月～2月、月1回実施

b 地域清掃 毎月1回(第2土曜日)

(ウ) 家庭学級

年	月	日	行事	内容
行事が延期になったため、開催見送り				

(エ) 実習生

- a 保育実習 8月 (2名) 9月 (1名) 11月 (1名) 12月 (1) 1月 (1)
- b 看護実習 4月 (3名) 9月 (6名)
- c 調理実習 6月 (1名) 9月 (1名)

エ 施設外研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
7	5	12	言葉を豊かにする研究研修会	言葉の到達度を知り話し合う	アートホテル小倉	北九州市保育士会	1
		17	2025指導者研修会	運動会演技 ・まねっこ体操 ・パラバルーン ・組体操	北九州パレス	北九州市私立保育連盟	1
		21	第1回実習指導者研修会	実習指導を通じた保育の質の向上と組織マネジメント	北九州市商工貿易会館	北九州市保育士会	1
		26	乳児保育研修	乳幼児の発達	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		28	乳児保育研修	乳児保育の意義	web(zoom)	北九州市社会福祉研修所	1
	6	3	リーダー研修	乳幼児期の発達と保育内容	アートホテル小倉	北九州市保育士会	1
		4	乳児保育研修	子どもの健康	web(zoom)	北九州市社会福祉研修所	1
		13	第67回全国私立保育研究大会 飛騨高山大会	ニッポンのまんなかで“こどもまんなか”を語る 「ホイク・ド・ターケ・マルケ」	高山市民文化会館	公益社団法人全国私立保育連盟/一般社団法人岐阜県民間保育園・認定こども園連盟	1
		14					1
		15					1
		24	乳児保育研修	乳幼児の発達に応じた保育内容	毎日西部会館	北九州市保育士会	1
		27	保健衛生・安全対策研修	保健計画の作成と活用	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	2
	7	4	第1回 主任研修会	出前育児教室について	筒井市民センター	八幡西区保育士会	1
		9	給食部会	食事に関する研究研修会の献立決め	筒井市民センター	八幡西区保育士会	1
		10	障害児保育研修	子ども政策におけるインクルージョンの推進	アートホテル小倉	北九州市保育士会	1

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
7	7	17	第9回九州保育三団体 研究大会	「すべての子どもの 権利と育ちを保障し ていく社会の実現」 をめざして ～子どもの笑顔を絶 やさない、平和の継 承～	那覇文化芸 術劇場なは ～と	九州保育三団 体協議会	1
		18					1
		24	障害児保育研修	障害児保育の現状	ウエルとばた	北九州市 社会福祉 研修所	1
		25	乳児保育研修	保育所保育指針と乳 児期の意義	ウエルとばた	北九州市 保育士会	1
		28	第1回給食献立伝達研 修	熱中症予防と適切な 水分補給	ウエルとばた	北九州市	1
		29	保健衛生・安全対策 研修	保育者の防災意識を 高めるために	web(zoom)	北九州市 社会福祉 研修所	2
		31	保健衛生・安全対策 研修	知って安心、災害の 備え	web(zoom)	北九州市 社会福祉 研修所	2
	8	5	障害児保育研修	保育に配慮を必要と する子どもたち	ウエルとばた	北九州市 社会福祉 研修所	1
		5	障害児保育研修	障害児保育の考え方	アートホテル小倉	保育士会	1
		18	実習指導者研修	実習指導へのヒント を相互に学ぶ	アートホテル小倉	保育士会	1
		18	令和7年度民間社会福 祉事業従事者共済事 業担当者研修会	民間社会福祉事業従 事者事務について	ウエルとばた	北九州市 社会福祉協議 会	1
		19	幼児教育研修	強靱でしなやかな組 織に	ウエルとばた	保育士会	1
		20	障害児保育研修	事例検討にあたって	ウエルとばた	北九州市 社会福祉 研修所	1
		25	マネジメント研修	マネジメントとリー ダーシップ	アートホテル小倉	保育士会	1
		28	言葉を豊かにする研 究研修会	事例発表	レインボープラザ	北九州市 保育士会	1
	9	8	幼児教育研修	保育内容の研究	ウエルとばた	北九州市 社会福祉 研修所	1

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
7	9	11	マネジメント研修	マネジメントとは…	アートホテル小倉	保育士会	1
		10	青年部視察研修	地域になくってはならない園になる為に	南大分に笑顔さくえんわらひ	大分県私立保育協議会 青年部	
		11			松栄こども園		
	10	17	幼児教育研修	小学校との連休	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		20	食育アレルギー対応研修	食育計画の作成と活用	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	2
		21	第49回保育所(園)等における食事に関する研究研修会	実践発表	ウエルとばた	北九州市保育士会	1
		23	第44回全国私立保育連盟青年会議 奄美大会	でい！くあんたむまーじん きばていききましょう！	アマホームPLAZA (市民交流センター)	全国私立保育園連盟青年会議	1
		24					1
		25	第63回北九州市保育研修大会	基調報告 記念式典/講演	J:COM 北九州芸術劇場	北九州市/ 北九州市保育士会	1
		28	幼児教育研修	乳幼児期のあそびと保育	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		29	幼児教育研修	幼児教育に関する理解の深化	アートホテル小倉	保育士会	1
		31	食育アレルギー対応研修	食物アレルギーの基礎	web(zoom)	北九州市社会福祉研修所	2
	11	10	第2回 主任研修会	わらべうた遊び	筒井市民センター	八幡西区保育士会	
		13	第2回給食伝達研修会	実習献立説明・調理実習・試食・評価	ウエルとばた	北九州市	1
		14	東西理事長施設長研修	橘原智司先生の祝賀会	創案物語志音	北九州市保育所連盟八幡西支部東支部	1
		27	第10回保育三団体青年会議研修大会	ゆいまーるの心で未来～新時代への結束～	沖縄産業支援センター	九州保育三団体青年部協議会	1
		28					
	12	1	令和7年度保幼小連携接続研修会	実践する上での工夫	web(Teams)	北九州市	1

	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
7	12	4	保護者支援子育て支援研修	児童虐待の現状と保育園の役割・関係機関との連携について	ウェルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		5	令和7年度第2回給食部会	献立反省/グループ討議	筒井市民センター	北九州市	1
		9	保護者支援子育て支援研修	保護者支援・子育て支援の意義	ウェルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		12	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	子ども・子育て家庭の現状	ウェルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		18	食育アレルギー対応研修	保育所における食事の提供ガイドライン	ウェルとばた	北九州市社会福祉研修所	2
		19	相談員研修	こどもの最善の利益を支える相談員のはたらき	ウェルとばた	北九州市保育士会	
		22	保護者支援子育て支援研修	保育と相談援助～保育現場のソーシャルワーク実践～	ウェルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		23	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	子どもの発達	ウェルとばた	北九州市保育士会	1
8	1	8	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	見学実習	西戸畑保育所	北九州市社会福祉研修所	1
		14	実習指導者研修	人材育成の観点から学ぶ保育所実習指導の基本	アートホテル小倉	北九州市保育士会	1
		15	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	小児保育1	ウェルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		17	保育施設等における不適切保育の防止に関する研修会	言葉の到達度を知り話	web(zoom)	福岡県/福岡県保協	1
		26	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	地域保育の環境整備	ウェルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		30	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	乳幼児の生活と遊び	ウェルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
	2	2	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	グループ討議	ウェルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		19	第43回 北九州市保育士研究研修会	子どもに視点をあてた保育であるためにはーいま私たちに求められる保育の専門性ー	ホテルクラウンパレス小倉	北九州市保育士会	1

オ 施設内研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	内 容	参加人数
7	4	4	園内研修	書類の書き方、提出物の提出期限、提出方法、避難訓練について	19
		26	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	19
	5	10	園内研修	運動会話し合い	19
		27	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	17
	6	10	園内研修	運動あそびについて	20
		27	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	18
	7	2	園内研修	保護者対応について	17
		28	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	20
	8	6	園内研修	運動会リハーサル(未満児)	16
		8	園内研修	運動会リハーサル(以上児)	10
		21	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	-
	9	12	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	19
		18	園内研修	衣装チェック	13
	10	10	園内研修	危機管理・人権について	16
		10	研修報告会議	4月～9月までの研修の報告	16
		14	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	18
	11	7	園内研修	第三者評価・自己評価について	17
		-	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	-
	12	16	園内研修	お店屋さんごっこの品物提案・作成	16
		19	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	-
8	1	8	園内研修	AEDの使い方	20
		27	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	19
	2	13	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	19
		17	園内研修	発達の目安1・未満児、チョコ(生活面・遊び面)	19
	3	30	ケース検討会議	気になる子どもについての討議	13
		6	園内研修	発達の目安2・クッキー、ANNEX、ANNESSOマシュマロ(生活面・遊び面)振り返り・まとめ	17

※リーダー会議：随時

職員会議：月1回

（2）利用状況

ア 園児の入所状況

(單位：人)

(ア) 認定こども園ICHIGO

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保育日数		25	23	26	25	26	24	25	24	24	23	22	26	293
在籍児童数	以上児	53	51	51	51	51	51	51	50	50	50	50	50	609
	1号	16	16	16	16	16	16	16	17	17	17	17	17	197
	満3歳児	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
	未満児	28	28	30	31	34	34	34	34	34	35	35	35	392
	合計	97	95	97	98	101	101	102	102	102	102	102	102	1,201
新入園児	以上児	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	未満児	6	0	2	1	3	0	1	0	0	1	1	0	15
	合計	18	0	2	1	3	0	1	0	0	1	1	0	27
退所園児数		2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	6

(イ) ANNEX ICHIGO

(单位:人)

[illegible]

イ 延長保育利用児童数（保育短時間分：7:00～9:00、17:00～18:00）（単位：人）

[illegible]

ウ 延長保育利用児童数

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	18	14	14	15	14	14	14	14	16	14	12	12	14.3
一日平均実利用数	4.4	4.8	4.1	5.4	4	5	4.8	4.4	4.9	3.5	3.2	3.3	4.3

エ 一時保育利用児童数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月間利用人数	0	0	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0.8

オ 見学者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月間人数	9	7	7	10	3	4	5	4	5	5	2	5	5.5

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

なし

エ 意見箱にいただいた意見

なし

(4) 事故報告

ア 事故の内容

(単位：人)

内容	事故	ICHIGO インシデント	ANNEX インシデント	合計
噛みつき	0	8	2	10
打撲	5	186	22	208
擦り傷	1	50	7	57
切り傷	2	17	0	17
挟み傷	0	9	0	9
ひっかき傷	0	25	4	29
その他	0	28	1	29
合計	8	323	36	359

※ 事故～病院受診したもの

インシデント～病院受診していないもの

イ 病院受診

(単位：人)

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
7	6	25	打撲	左母趾爪剥離症	特になし/ おかだ外科胃腸科クリニック
		30	打撲	外傷性歯の 亜脱臼	特になし/ でぐち歯科・こども歯科
	7	31	打撲	打撲症	特になし/ 永犬丸小児科
	8	12	打撲	頭部打撲	特になし/ 永犬丸小児科
	10	1	打撲	頭部打撲	特になし/ 永犬丸小児科
		10	打撲 挫創	左母趾打撲傷 左母趾挫創	特になし/ 北九州整形外科
	12	22	切傷	口唇挫創	縫合/ だざい皮膚科・形成外科クリニック
8	2	9	切傷	上唇小帯裂傷	特になし/ でぐち歯科・こども歯科

(5) 令和7年度事業計画の達成度

ア 平成令和7年度基本方針に関して

令和7年度に引き続き、(ア)利用者の側に立つサービスの提供、(イ)地域に根差す施設づくり、(ウ)事業の展開を支える機能の強化と職員育成・業務の見直し(エ)「認定こども園 ICHIGO」「ANNEX ICHIGO」「ANNESSESO ICHIGO」の連携を徹底(オ)「幼児教育・保育の無償化に伴い、公定価格(運営費)の計算方法の見直しなど情報収集に努めると掲げ、地域交流など達成できていない部分はあるが、おおむね達成できた。

イ 令和7年度事業内容に関して

(ア)「利用者の側に立つサービスの提供」について

施設見学については、希望者全員を断ることなく受け入れ、園の予定等を調整しながら柔軟に対応することができた。年間を通して66件の見学を受け入れ、園の特色や保育内容を丁寧に伝える機会となった。

ケガ等が発生した際の保護者対応の見直しについては、会議等での周知に加え、園内研修を通して帳票類の説明や対応方法の共有を行った。その結果、大きな事故もなく、一定の見直しと改善を図ることができた。しかしながら、ケガへの対応については今後も継続的な課題であるため、引き続き安全管理や職員間の連携強化に努めていきたい。

また、職員と保護者とのコミュニケーション強化を目的として、SNSや写真配信等を活用し、子どもたちの様子や保育内容を積極的に発信することができた。保護者に安心感を持っていただくとともに、園への理解を深めていただく機会につながった。

課外教室の充実については、今後も保護者ニーズを把握しながら、子どもたちの成長や興味関心につながる内容を検討し、より充実した取り組みへと発展させていきたい。

(イ)「地域に根差す施設づくり」について

認定こども園 ICHIGO 及び ANNEX ICHIGO 周辺の市所有花壇について、継続的にサポーター活動を行った。主任を中心に地域の方々との交流や共同活動を進めることができ、地域とのつながりを深める機会となった。

また、ホームページや SNS については、保護者向けに行事や園での取り組みを継続的に発信することができ、情報共有の充実につながった。

各クラスの老朽化した箇所の修繕については、一部実施することができたが、業者の人手不足等の影響により、来年度へ持ち越しとなった案件もある。

今後も中長期的な計画を立てながら、継続的に環境整備を進めていきたい。

採用活動については、リクルートサイトのリニューアルを行い、新たにサテラ

イトサイトを立ち上げ、SEO（検索エンジン最適化）対策にも取り組むことができた。今後はパンフレット等の紙媒体も活用しながら、継続的な人材確保および園児募集につなげていきたい。

さらに、北九州市内および福岡県内における「子ども食堂」やその他地域支援事業について調査・検討を行い、今後のこども園の在り方について協議を進めた。しかしながら、現時点では具体的な事業化に至る決定的な方向性は見出せておらず、引き続き地域ニーズを踏まえながら模索・検討を継続していきたい。

（ウ）「事業の展開を支える機能の強化」について

職員の資質向上については、クラスリーダー・中堅保育士・各分野別リーダーの育成を重点的に行った。その結果、広い視野を持って保育士の役割を捉え、職員一人ひとりに応じた適切な役割分担や指導を行う体制づくりにつながった。

働きやすい職場づくりに関しては、会議等において建設的かつ活発な意見交換ができる場の設定や、必要な休暇を取得しやすい環境づくりに努めるなど、職場環境の整備を進めた。一方で、継続的な改善が必要な課題として、今後も取り組みを続けていく必要がある。

また、常に「子どもの人権」を念頭に置き、虐待防止に対する意識の徹底を図るとともに、保護者の理解と協力を得ながら、安心して子どもを預けられる環境づくりに努めた。

個人情報管理徹底および守秘義務の厳守については、職員指導を強化した。特に個人情報管理については、保護者に対しても丁寧な説明を行い、理解と協力を得ながら漏えい事故防止に努めた。今後も情報管理に対する危機意識を持ち続け、安全かつ慎重に対応できる職員の育成を進めていく。

さらに、職員の定着化を見据え、休暇を取得しやすい環境づくりや残業削減、子育てをしながらでも働きやすい職場環境の整備を進めた。加えて、パートタイマー職員の増員や固定勤務の導入など、働き方改革を意識した取り組みを継続的に実施した。福利厚生についても、今後さらに充実を図れるよう検討を進めていく。

（エ）「認定こども園 ICHIGO」、「ANNEX ICHIGO」及び「ANNESO ICHIGO」の連携について

「認定こども園 ICHIGO」および「ANNEX ICHIGO」については、日常的な情報共有や連携体制の構築を進め、円滑な連携を図ることができた。

また、「ANNESO ICHIGO」を含めた三園全体としても、今後さらに連携を深め、保育内容や行事運営、職員間の情報共有等において一体的な取り組みを推進し、より良い教育・保育環境の充実に努めていく。

4 ANNESSO ICHIGO

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
7	4	1	辞令交付式	4月1日付採用職員に対する辞令交付
	8	9	ANESSO ICHIGO 指導監査	北九州市子ども家庭局による実地指導監査

イ 行事

年	月	日	行事	内容
7	4	1	入園進級式	園児のみで行う。
		18	春の遠足	三ヶ森4丁目公園に行き、園内に戻り弁当を食べた
		26	ICHIGOキッズ Festival (3施設合同)	ゲーム： くじ引き・魚釣り・わなげ・ボール投げ 飲食物： カレー・ポテト・フランクフルト・飲み物 ステージにて出し物を行い、祭り気分を味わう
	5	1	園児対象健康 診断	嘱託医：永犬丸小児科院長 金先生 0歳児・1歳児・2歳児の健康診断を行う
	7	5	保育参観	0歳児 太鼓づくり・ふれあい遊び 1歳児 バス作り 2歳児 ボーリング遊び クラス活動終了後、試食会を行う。
		7	七夕まつり 笹飾り	七夕の由来を説明し、笹飾りに願い事をした。
	8	29	水かけまつり	園のグリーンマット（室外）にて、水かけまつりをする
	9	13	運動会ごっこ	保護者参加 室内でかけっこや運動遊びを行った
		30	人形劇	2歳児がICHIGOに行き一緒に「からこま座」人形劇 「たまたまたま」「三枚のお札」を観る
	10	10	秋の遠足	三ヶ森4丁目公園に行く。園内に戻り一緒に弁当を食べた

年	月	日	行事	内容
7	10	30	ハロウィン パーティ	絵本を見た後、新聞紙でかぼちゃを作る。クマ役 の職員にお菓子をもらったのち、踊りを踊って楽 しんだ
	11	15	七五三	七五三の由来を聞き、飴を持って帰った
		20	クッキング	芋をホットプレートで焼き、バターと和えて型を 付けて食べた。
	12	24	クリスマス会	全園児でクリスマス会を行った。
8	1	31	お遊戯会	クラス入れ替え制で全クラス行う。
	2	3	節分 (豆まき)	全園児が各クラスで豆まきをした
		—	個人懇談	希望制にて懇談を行う
	3	3	ひなまつり	パネルシアターを楽しんだあと、小道具を持ちお 雛様・お内裏様になりきって写真撮影を行う。
		19	お別れ会	在園児と卒園児とのお別れ会を行った
		29	修了式	在園児の修了証書授与式を行った

※定例行事

毎月1回実施 避難訓練・誕生会

毎週2回 リーダー会議 毎月1回 職員会議

随時 行事の際に職員会議 計画的に個人懇談会

ウ 地域交流等

(ア) ボランティア・一日保育士体験

年	月	日	行事	内容

(イ) 実習生

なし

エ 施設外研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
7	4	7	給食献立栄養管理ソフト説明会		web(zoom)		1
	5	26	乳児保育研修	乳幼児の発達	ウエルとばた	北九州市 社会福祉 研修所	1
		28	乳児保育研修	乳児保育の意義	web(zoom)	北九州市 社会福祉 研修所	1
	6	4	乳児保育研修	子どもの健康	web(zoom)	北九州市 社会福祉 研修所	1
	10	20	食育アレルギー対応研修	食育計画の作成と活用	ウエルとばた	北九州市 社会福祉 研修所	1
		31	食育アレルギー対応研修	食物アレルギーの基礎	ウエルとばた	北九州市 社会福祉 研修所	1
	12	12	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	子ども・子育て家庭の現状	ウエルとばた	北九州市 社会福祉 研修所	1
		18	食育アレルギー対応研修	保育所における食事の提供ガイドライン	ウエルとばた	北九州市 社会福祉 研修所	1
		23	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	子どもの発達	ウエルとばた	北九州市 社会福祉 研修所	1
8	1	8	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	見学実習	黒崎保育所	北九州市 社会福祉 研修所	1
		15	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	小児保育1	ウエルとばた	北九州市 社会福祉 研修所	1
		26	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	地域保育の環境整備	ウエルとばた	北九州市 社会福祉 研修所	1
		30	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	乳幼児の生活と遊び	ウエルとばた	北九州市 社会福祉 研修所	1
	2	2	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	グループ討議	ウエルとばた	北九州市 社会福祉 研修所	1
		20	令和7年第3回地域型保育事業等給食担当者研修	食べる意欲を育てる取り組み	ウエルとばた	北九州市	1

オ 施設内研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	内 容	参加 人数
7	4	2	園内研修	書類の書き方、提出物の提出期限、 提出方法、避難訓練について	6
	5	10	園内研修	保護者対応	6
	6	9	園内研修	運動会ごっこについて	6
	7	9	園内研修	人権について	7
	8	27	園内研修	運動会ごっこリハーサル	6
	9	13	園内研修	第三者評価・自己評価について	5
	10	16	園内研修	お遊戯会について	5
	11	27	園内研修	ヒヤリハット・研修報告	5
	12	26	園内研修	お店屋さんごっこの品物提案・作成	6
8	1	13	園内研修	救急対応（ケガ・事故） アレルギー・AED	6
	2	19	園内研修	発達の目安（生活面・遊び面）	5
	3	5	園内研修	来年度の行事案作成	4

(2) 利用状況

ア 園児の入所状況

(單位：人)

(ア) ANNESSO ICHIGO

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保育日数		25	23	26	25	26	24	25	24	24	23	22	26	293
在籍児童数	未満児	14	14	15	16	16	18	18	18	19	19	19	19	205
	合計	14	14	15	16	16	18	18	18	19	19	19	19	205
新入園児	未満児	1	0	1	1	0	2	0	0	1	0	0	0	6
	合計	1	0	1	1	0	2	0	0	1	0	0	7	13
退所園児数		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3

イ 延長保育利用児童数（保育短時間分：7:00～9:00、17:00～18:00）（単位：人）

[illegible]

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

なし

エ 意見箱にいただいた意見

なし

(4) 事故報告

ア 事故の内容

(単位：人)

内容	事故	インシデント	合計
噛みつき	0	11	11
打撲	0	45	45
擦り傷	0	20	20
切り傷	0	6	6
挟み傷	0	4	4
ひっかき傷	0	10	10
その他	0	5	5
合計	0	101	101

※ 事故～病院受診したもの

インシデント～病院受診していないもの

イ 病院受診

(単位：人)

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
—					

令和7年度事業計画の達成度

ア 令和7年度基本方針に関して

(ア) 利用者の側に立つサービスの提供、(イ) 地域に根差す施設づくり、(ウ) 事業の展開を支える機能の強化 (エ) 連携施設との連携計画を掲げ、それぞれの取組を進めた。達成できていない部分も一部見られたが、全体としてはおおむね達成することができた。

イ 令和7年度事業内容に関して

(ア) 「利用者の側に立つサービスの提供」について

施設見学については、希望者を断ることなく、希望日時や予定を調整しながら柔軟に受け入れることができた。利用希望者に対して丁寧な対応を心掛け、施設への理解を深めてもらう機会を確保することができた。

(イ) 「地域に根差す施設づくり」について

ホームページやSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用し、保護者向けの行事や施設での活動内容等について情報発信を行うことができた。施設の取組を継続的に発信することで、保護者や地域とのつながりづくりに努めた。

(ウ) 「事業の展開を支える機能の強化」について

働きやすい職場づくりに関しては、会議等において建設的で活発な意見交換ができる場の設定や、責任者を中心として必要な休暇を取得しやすい環境づくりに努め、職場環境の整備を進めた。しかしながら、継続的な改善が必要な課題でもあり、今後も取り組んでいく必要がある。

また、常に「子どもの人権」を念頭に置き、虐待防止に対する意識の徹底を図るとともに、保護者の理解と協力の促進に努めた。

個人情報の管理の徹底及び守秘義務の厳守については、職員指導を強化した。特に個人情報管理については、保護者に対しても適切な理解と協力を求め、丁寧な説明を行いながら同意を得ることで、情報漏えい事故の防止に努めた。今後も、情報管理に対する危機意識を維持し、安全性に十分配慮した対応ができる職員の育成に努めていきたい。

職員の定着については、小集団での連携に難しさが見られる場面もあることから、職員間の共通理解や情報共有の徹底を図り、引き続き連携強化に努めていく必要がある。

5 認定こども園 SAKURANBO

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	行 事	内 容
7	9	4	監査	北九州市保健福祉局総務部一般指導監査による実地監査を受けた

イ 行事

年	月	日	行 事	内 容
7	4	1	入園進級式	保護者も参加して入園進級式を行った
		17	健康診断	嘱託医：西野小児科医院長西野裕先生による、0歳～5歳児までの健康診断を受けた
		25	春の遠足	園児と職員等で遠足に出かける
	5	15	クッキング	5歳児が焼きそばパンを作って食べた
		22	クッキング	4歳児がおにぎりを作って食べた
		23	シルエット劇場	5歳児が公共交通機関を使ってでシルエット劇場を観にいった
		26	保育参観 給食試食会	26日～30日の5日間、保育参観と給食試食会に保護者が参加する
		27	合同避難訓練	風の家・風の子と合同で高潮による避難訓練をする
	6	18	歯科検診	4・5歳児が園医による歯科検診を受ける
		21 22	お泊り保育	5歳児が保育教諭と一緒に園で宿泊した
	7	4	風の家訪問	5歳児が風の家にな七夕飾りを持っていった
		5	SAKURANBO フェスティバル	保護者と一緒にくじやゲーム、レストランなどの催し物を楽しんだ
		7	七夕集会	七夕の由来を説明し、笹飾りに願い事をした
		11	プール開き	水遊びやプール遊びでの約束事を聞いて遊んだ
		24	一日保育士体験	本城小の職員4名が保育士体験、給食試食をした
	8	2	卒園児同窓会	小学1年から3年生までの卒園児を招待して遊び、カレーを食べた

年	月	日	行 事	内 容
7	8	22	プール納め	水遊びでできるようになったことを披露する
	9	12	運動会リハーサル	3・4・5歳児の運動会リハーサルを行った
		27	運動会	3・4・5歳児が本城小学校の体育館で運動会を行った
	10	1	運動会ごっこリハーサル	0・1・2歳児の運動会ごっこのリハーサルをした
		4	運動会ごっこ	0・1・2歳児が保護者と一緒に運動会ごっこに参加した
		23	園児健康診断	園医の西野小児科による健康診断を受けた
		24	秋の遠足	4・5歳児はバスに乗って園外保育にでかけ、0・1・2・3歳児は園周辺を散策した
		30	芋ほり	年長児が畑の芋を収穫した
	11	5	焼き芋	全園児で焼き芋をして食べた
		8	本城市民センター文化祭	4・5歳児が作品を展示した
		14	音楽指導	5歳児が講師の土井先生による音楽指導を受けた
		21 22	お遊戯会リハーサル	演目内容や衣装などを確認した
		26	音楽指導	5歳児が講師の土井先生による音楽指導を受けた
		27 28	お遊戯会通しリハーサル	プログラム順にリハーサルを行う
	12	2 3	お遊戯会 DVD撮影	お遊戯会の演目を事前撮影した
		6	お遊戯会	日常の生活や遊びの中で育んできた様々なことを発表した（全園児）
		18	ギラヴァンツサッカー指導	ギラヴァンツのコーチによるスポーツ体験（4.5歳児をした）
		25	クリスマス会	全園児でクリスマス会を行う
8	1	15	ギラヴァンツサッカー指導	ギラヴァンツのコーチによるスポーツ体験（4.5歳児をした）
		19	クッキング	3歳児が園庭のみかんを使ってジャム作り食べた
		21	音楽コンサート	音楽指導の土井先生と打楽器演奏者の吉田先生の演奏を全園児で聴いた

年	月	日	行 事	内 容
8	1	22	クッキング	4歳児が材料を買い出しに行きクッキーを作って食べた
		24	お店屋さんごっこ	全園児で、お店屋さんごっこを楽しんだ
	2	3	節分	節分の由来を知り、豆まきをした
		7	保育参観	日頃の保育の様子を保護者に見てもらった
		20	お茶会	5歳児がお茶会を体験した
	3	3	ひな祭り	ひな祭りの由来を知り、お祝いする
		6	お別れ遠足	5歳児がバスに乗ってお別れ遠足に行く
		14	卒園式	卒園児と保護者として卒園式を行う
		25	お別れ会	卒園児へ各クラスが出し物を披露する
		26	クッキング	5歳児がカレーを作って食べた
		30	修了式	修了式に参加して修了証書をももらった

※ 定例行事

毎月 1 回実施 避難訓練・誕生会

毎月 4 回実施 硬筆・英語で遊ぼう・体操教室

毎週 3 回 リーダー会議 毎月 1 回 職員会議

随時 行事の際に職員会議 計画的に個人懇談会

(ア) ボランティア (中学生1名参加)

(イ) 地域交流

a 一緒に遊びましょう 5月～2月、月1回実施 (未就園児対象)

b 園庭解放 (利用者なし)

c 絵本の貸し出し (中止)

d 本城小学校学校行事 (園長のみ参加)

e 1日保育士体験 (本城小学校教諭4名参加)

(保護者14名参加)

f 市民センター文化祭 (4.5歳児作品のみ展示)

(ウ) 家庭学級 (実施なし)

(エ) 子育て支援(本城市民センター)

a 子育て支援フリースペース (未就学児対象)

* R7.7月とR8.2月のさくらんぼ広場への参加

(オ) 実習生

a 保育実習 6月 (1名)

b 看護実習 6月 (6名)

エ 施設外研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
7	5	12	言葉を豊かにする研究研修会	言葉の到達度を知り話し合う	アートホテル小倉	北九州市保育士会	1
		12	新任保育士研修	職務の理解	web(zoom)	北九州市社会福祉研修所	1
		17	2025指導者研修会	運動会演技	北九州パレス	北九州市私立保育連盟	2
		19	乳児保育研修	乳幼児の発達	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		21	乳児保育研修	乳幼児の発達	web(zoom)	北九州市社会福祉研修所	1
		21	第1回実習指導者研修会	実習指導を通じた保育の質の向上と組織マネジメント	北九州市商工貿易会館	北九州市保育士会	1
		28	乳児保育研修	子どもの健康	web(zoom)	北九州市社会福祉研修所	1
	6	3	リーダー研修	乳幼児期の発達と保育内容	アートホテル小倉	北九州市保育士会	1
		16	新任保育士研修	保育士の役割と求められること	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		24	乳児保育研修	乳幼児の発達に応じた保育内容	毎日西部会館	北九州市保育士会	1
		27	保健衛生・安全対策研修	保健計画の作成と活用	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
	7	4	第1回 主任研修会	出前育児教室について	筒井市民センター	八幡西区保育士会	2
		9	給食部会	食事に関する研究研修会の献立決め	筒井市民センター	八幡西区保育士会	2
		9	マネジメント研修	組織目標の設定の人材育成	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		10	障害児保育研修	子ども政策におけるインクルージョンの推進	アートホテル小倉	北九州市保育士会	1
		24	障害児保育研修	障害児保育の現状	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		25	乳児保育研修	保育所保育指針と乳児期の意義	ウエルとばた	北九州市保育士会	1
		28	第1回給食献立伝達研修	熱中症予防と適切な水分補給	ウエルとばた	北九州市	1
		29	保健衛生・安全対策研修	保育者の防災意識を高めるために	web(zoom)	北九州市社会福祉研修所	1
		31	保健衛生・安全対策研修	知って安心、災害の備え	web(zoom)	北九州市社会福祉研修所	1
	8	5	障害児保育研修	保育に配慮を必要とする子どもたち	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
7	8	5	障害児保育研修	障害児保育の考え方	アトホテル小倉	北九州市保育士会	1
		18	実習指導者研修	実習指導へのヒントを相互に学ぶ	アトホテル小倉	北九州市保育士会	1
		19	幼児教育研修	強靱でしなやかな組織に	ウエルとばた	北九州市保育士会	1
		20	障害児保育研修	事例検討にあたって	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		28	言葉を豊かにする研究研修会	事例発表	レインボープラザ	北九州市保育士会	1
	10	20	食育アレルギー対応研修	食育計画の作成と活用	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		21	第49回保育所(園)等における食事に関する研究研修会	実践発表・講演	ウエルとばた	北九州市保育士会	1
		25	第63回北九州市保育研修大会	基調報告 記念式典/講演	J:COM北九州 芸術劇場	北九州市保育士会	4
		29	幼児教育研修	幼児教育に関する理解の深化	アトホテル小倉	北九州市保育士会	1
		31	食育アレルギー対応研修	食物アレルギーの基礎	web(zoom)	北九州市社会福祉研修所	1
	11	10	第2回 主任研修会	わらべうた遊び	筒井市民センター	八幡西区保育士会	3
		13	第2回給食伝達研修会	実習献立説明・調理実習・試食・評価	ウエルとばた	北九州市	1
		19	マネジメント研修	マネジメントの理解	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		20	2025年全国教育・保育研究大会	式典・基調報告	東京国際 フォーラム	全国社会福祉協議会	1
		21		地域における子育て支援			
	12	1	令和7年度保幼小連携接続研修会	実践する上での工夫	web(Teams)	北九州市	1
		5	令和7年度第2回給食部会	献立反省/グループ討議	筒井市民センター	八幡西区保育士会	2
		12	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	子ども・子育て家庭の現状	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		17	新任保育士フォローアップ	保育士の役割と求められること	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		18	食育アレルギー対応研修	保育所における食事の提供ガイドライン	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		19	相談員研修	こどもの最善の利益を支える相談員のはたらき	ウエルとばた	北九州市保育士会	1
		23	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	子どもの発達	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1

年	月	日	研修名	テーマ	開催場所	主催者	人数
8	1	8	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	見学実習	若松コスモス保育所	北九州市社会福祉研修所	1
		14	実習指導者研修	実習指導を通じた保育の質の向上	アートホテル小倉	北九州市保育士会	1
		15	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	小児保育 1	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		22	職員研修会	つみき遊び研修	筒井市民センター	八幡西支部	1
		26	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	地域保育の環境整備	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		30	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	乳幼児の生活と遊び	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
	2	2	R7年度北九州市子育て支援員研修地域保育コース	グループ討議	ウエルとばた	北九州市社会福祉研修所	1
		17	令和7年度第3回給食部会	献立反省/グループ討議	筒井市民センター	八幡西区保育士会	2
		19	第43回 北九州市保育士研究研修会	いま私たちに求められる保育の専門性	ホテルラウンパレス小倉	北九州市保育士会	1
		27	言葉を豊かにする研究研修会	実践発表・自己評価のふりかえり	アートホテル小倉	北九州市保育士会	1

オ 施設内研修

(単位：人)

年	月	日	研修名	内 容	参加 人数
7	4	15	ケース検討	気になる子どもについての討議	11
		24	園内研修	年間計画・園でのルール	15
	5	16	ケース検討	気になる子どもについての討議	14
		16	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（5月分）	14
		25	園内研修	保護者への子育て支援について	11
	6	16	ケース検討	気になる子どもについての討議	12
		16	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（5月～6月分）	12
		25	園内研修	不審者侵入訓練について	13
	7	7	ケース検討	気になる子どもについての討議	14
		7	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（6月分）	14
		23	園内研修	体を動かして遊ぼう（職員レクリエーション）	14
	8	6	ケース検討	気になる子どもについての討議	14
		6	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（7月分）	14
		26	園内研修	ヒヤリハット・ひやりハット	10
	9	11	ケース検討	気になる子どもについての討議	11
		11	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（8月分）	11
		18	園内研修	不適切保育について	11
	10	16	園内研修	講師による音楽指導	16
		29	ケース検討	気になる子どもについての討議	8
	11	5	園内研修	感染症について	14
		25	ケース検討	気になる子どもについての討議	14
		25	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（10月分）	14
	12	11	園内研修	AEDの使い方	21
		24	ケース検討	気になる子どもについての討議	12
		24	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（11・12月分）	12
8	1	15	園内研修	発達の日安について	14
		26	ケース検討	気になる子どもについての討議	9
		26	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（1月分）	9
	2	5	園内研修	園でのルールの再確認	12
		26	ケース検討	気になる子どもについての討議	12
	3	4	園内研修	ふりかえり・次年度計画作成	13
		19	ケース検討	気になる子どもについての討議	11
		19	研修報告会議	施設外研修の伝達会議（1月・2月分）	11

※リーダー会議：随時

職員会議：月1回

(2) 利用状況

ア 園児の入所状況

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保育日数	25	23	26	25	26	24	25	24	24	23	22	26	293
在籍児童数	以上児	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600
	1号	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
	満3歳児	0	0	1	1	1	1	1	2	2	2	2	0
	未満児	36	37	39	39	40	40	40	40	40	40	40	471
	合計	100	101	104	104	105	105	105	106	106	106	106	1,254
新入園児	以上児												0
	未満児		1	2		1		1	1				6
	合計	0	1	2	0	1	0	1	1	0	0	0	6
退所園児数							1					2	3

イ 延長保育利用児童数 (保育短時間分：7:00～9:00、17:00～18:00) (単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一日平均実利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

ウ 延長保育利用児童数 (単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録数	12	13	14	16	15	15	19	19	19	25	26	21	17.83
一日平均実利用数	3.3	5.7	6.1	6.7	5.1	6.7	8.3	6.8	8	9.3	10	7.3	7.0

エ 一時保育利用児童数 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月間利用人数	5	4	0	1	6	7	2	0	1	3	1	3	2.8

才 見学者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
月間人数	2	1	4	3	2	12	9	4	7	0	3	3	4.2

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

なし

エ 意見箱にいただいた意見

なし

(4) 事故報告

ア 事故の内容

(単位：人)

内容	事故	インシデント	合計
噛みつき	0	12	12
打撲	3	98	101
擦り傷	1	64	65
切り傷	2	11	13
挟み傷	0	10	10
ひっかき傷	0	25	25
その他	4	7	11
合計	9	227	237

※ 事故～病院受診したもの

インシデント～病院受診していないもの

イ 病院受診

(単位：人)

年	月	日	事故の種別	被害の状況	対応及び結果
7	5	12	擦り傷	右頬部擦過創	皮膚科受診 経過観察後治癒
	6	6	その他	外傷性歯の脱臼	歯科受診 経過観察後治癒
	9	6	その他	右肘関節捻挫	整形外科受診 シーネ固定 計7回通院後完治
	11	4	打撲	右手部打撲傷	整形外科受診 異常なし
	11	27	切り傷	左頬部挫創	形成外科受診 4針縫合 計5回通院
	12	17	その他	右角膜上皮剥離	歯科受診 異常なし
	12	19	切り傷	陰部切創	小児科受診 経過観察後治癒
	12	23	打撲	外傷性歯の打撲	歯科受診 異常なし
8	2	24	打撲	左肘関節捻挫	整形外科受診 経過観察後治癒

(5) 令和7年度事業計画の達成度

ア 令和7年度基本方針に関して

令和7年度は、前年度に引き続き、(ア)利用者の側に立つサービスの提供、(イ)地域に根ざす施設づくり、(ウ)事業の展開を支える機能の強化、を掲げた。その中で、感染症や熱中症対策に気を付け保育や行事について見直しながら取り組み、進めていきました。また、認定こども園 SAKURANBO に移行して4年、ICHIGO と連携して保育・行事・運営を進めたが、徐々に軌道にのってきた。

イ 令和7年度事業内容に関して

(ア)「利用者の側に立つサービスの提供」について

令和7年度は、感染症に気を付け、新たに熱中症対策を取りながら、その中でも常に「子どもの人権」、「個人情報保護」を意識し、職員の言葉遣いや態度などに配慮し、守秘義務の遵守についての努力を継続した。

また、保育実践についても、感染症・熱中症対策をとりながら、年齢別に保育計画、指導計画、及び個別計画を作成し、成長に応じた適切な保育を行った。

特に、園行事に関しては、感染症・熱中症対策をとりながらも、徐々にもとに戻しつつ、保護者にアンケートを実施し、保護者のニーズを把握しながら、行事に活かしていくことができるように努めた。

また、職員の質的向上を目指し施設内外での研修に、またオンラインでの研修に、積極的に参加させることで、実践に必要な知識・技術の習得と充実に努めた。

また、処遇改善に伴うキャリアアップに伴い、クラスのリーダー、中堅保育教諭、各分野別リーダー、の育成を重点的に行うことで、広い視野で保育士の役割を考え、職員ごとに適切な役割を担えるように指導を行うことができるようになった。

3歳以上児の保育の無償化に伴い、給食を主食も提供する完全給

食にしているが、子どもたちには温かいご飯が食べられる、保護者には朝の忙しい時間助かる、と好評である。

さらに、統合保育（気になる子どもの対応）については、北九州市立総合療育センター地域支援担当保育士の指導を受けながら、子どもの個性を活かしながら、まわりの子どもたちとの関係構築を行うことで、楽しく保育園生活を送ることができるように心がけた。

各種園だよりを活用して、広く地域に子育て情報を発信したり、未入園児の保護者からの相談を受けたりするなど、子育て支援に取り組み、今年度も行ったものの参加が少なかった。

また、菜園活動で、季節の野菜を育て収穫して食べたり、保護者へのレシピの紹介、アレルギーの子どもへの除去食の提供など、食育にも力をいれた。

天候に左右されず遊べるデッキを日々有効利用し、子どもたちがのびのび遊ぶ姿を保護者に紹介したところ、楽しそうに遊んでいると保護者にも喜ばれている。また0、1、2歳児の運動会ごっこもデッキで行なっているが、見やすく応援しやすいと好評だった。

苦情・意見・要望については、その都度、保護者と話し合い、解決していくように努めた。その学びを活かした保護者対応を心がけ、意見や苦情につながるような事例はなかった。今後も継続して、子ども、保護者の様子の変化等を敏感に察知できる能力を向上させ、かつ、速やかな対応に努めていく。

感染症・熱中症対策の中で、子どもも職員も、消毒、手洗い、マスク着用等衛生面には十分注意しながら、体調管理にも気をつけた。また北九州市からの衛生管理マニュアルを職員間で回覧し、周知徹底している。

（イ）「地域に根ざす施設づくり」について

「幼・保・小連携」の一環として、小学校教師による一日保育士体験は、令和7年度、本城小学校の4人の先生方に参加していただき、連携に努めた。

毎年、地域の文化祭や敬老祝賀会では芸能出演の依頼を受け、年長児が歌やダンス、楽器演奏などを披露し、高齢者からあたたかい拍手を浴びたことで、勇気と自信につながる貴重な体験をすることができた。

高齢者施設「風の家」との交流については、利用者に七夕飾りを

贈りまた、敬老の日のプレゼントは年長児が、小物入れを作って渡し喜ばれた。

今後も、行事を中心とした同施設や地域の年長者との交流、「幼・保・小連携」を、園児の心の育ちや学びに活かしていきたい。

また、未入園児を対象とした「一緒に遊びましょう」は、地域に周知されてはいるが、参加は少なかった。本城市民センターの未入園児による「さくらんぼ広場」には職員を派遣して、子育て支援と地域交流をしている。

(ウ)「事業の展開を支える機能の強化」について

令和7年度はすべての面で、保育の目標を達成するために、基本となる、保育理念・保育方針・保育目標に基づいた実践を行い、さらに、保育内容の自己評価及びこれに基づく改善に努めた。

職員の質の向上に向けては、子供の保育及び、保護者に対して保育に関する助言が、適切に行えるように、自己評価に基づく課題等を踏まえ、できるだけ保育園内外の研修を受講させた。

研修内容は、報告会議等の場で共有する環境を設けることで、知識を共有し職員全体の意欲向上も図った。

今後とも、有意義な研修を、計画的効果的に活用していきたい。令和4年4月より、「認定こども園 SAKURANBO」に移行したので、今後も姉妹園の「認定こども園 ICHIGO」と連携して、養護と教育・職員の資質向上にむけて積極的に取り組んでいきたい。

6 かぜの子保育園

(1) 経過報告

ア 運営・管理

年	月	日	項目	内容
7	4	9	防災	避難・通報訓練
	5	12	防災	避難・初期消火訓練
		22	健康管理	園児健康診断
		27	防災	高潮の際の避難
	6	9	防災	避難・初期消火訓練
		27	健康管理	園児歯科健康診断
	7	9	防災	避難・通報訓練
	8	12	防災	避難・通報訓練
	9	8	防災	避難・通報訓練
	10	6	防災	避難・通報訓練
	11	11	防災	避難・通報訓練
		27	健康管理	園児健康診断
		28	健康管理	園児歯科健康診断
	12	8	防災	避難・通報訓練
8	1	10	防災	避難・通報訓練
	2	10	防災	避難・通報訓練
	3	9	防災	避難・通報訓練

イ 行事

年	月	日	項目	内容
7	4	17	入園・進級式	特別メニューとお祝いイベント
		27	お誕生会	特別メニューとお祝いイベント
		27	こどもの日会	季節の催事を体験する
	5	21	お誕生会	特別メニューとお祝いイベント
	6	16	お誕生会	特別メニューとお祝いイベント

年	月	日	項目	内容
7	7	16	お誕生会	特別メニューとお祝いイベント
	8	20	お誕生会	特別メニューとお祝いイベント
	9	12	敬老の日会	季節の催事を体験する
		16	お誕生会	特別メニューとお祝いイベント
		27	秋祭り	季節の催事を体験する
	10	25	お誕生会	特別メニューとお祝いイベント
		31	ハロウィン	季節の催事を体験する
	12	17	お誕生会	特別メニューとお祝いイベント
		25	クリスマス会	季節の催事を体験する
8	1	21	お誕生会	特別メニューとお祝いイベント
	2	18	お誕生会	特別メニューとお祝いイベント
	3	3	ひな祭り	季節の催事を体験する
		23	誕生会	特別メニューとお祝いイベント
		31	お別れ式	転園児童とのお別れ

※誕生会：毎月（該当児童がいない場合はお楽しみ会）

※法人・アイグランとの定例会 月1回

ウ 地域交流（0件）

年	月	日	概要	内容
なし				

(2) 施設の利用状況 (利用定員19人)

ア 在籍園児数(月初時点)

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
在籍園児数	12	15	16	17	18	17	17	17	18	16	17	17	197	16.4
うち地域枠	7	8	8	9	9	8	8	8	8	7	8	8	96	8
うち連携企業枠	2	4	5	5	6	6	6	6	6	5	5	5	61	5
うち自社枠	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	40	3
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
入園児数	2	2	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	8	0.7
退園児数	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	6	9	0.8

※ 退園理由：幼稚園・大規模保育園への転園、引っ越し

イ 年齢別平均在園児数

(単位：人)

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
在園児数	6.3	6.6	2.4	1.0	0.0	0.0	16.3

ウ 一時預かり事業利用児童数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
のべ利用児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

エ 延長保育事業利用児童数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
のべ利用児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

(3) 苦情申立

ア 施設への苦情申立

なし

イ 第三者委員への苦情申立

なし

ウ 行政への苦情申立

なし

エ 意見箱にいただいたご意見

なし

(4) 事故報告

ア 総件数 (単位：件)

分類	件数
事故総数	40
うち損害あり	37
うち行政報告あり	0

ウ 事故結果 (単位：件)

内容	件数
死亡	0
意識不明	0
打撲・発赤	34
骨折	0
火傷	0
創傷	0
口腔内受傷	2
その他	1
異常なし	3
計	40

イ 事故の内容・誘因 (単位：件)

内容	インシデント	事故	計
死亡	0	0	0
遊具等からの転落・落下	0	1	1
自らの転倒・衝突	0	17	17
子ども同士の衝突	0	8	8
玩具や遊具等の安全上の不備	0	0	0
他児からの危害	1	10	11
アナフィラキシーショック	0	0	0
溺水	0	0	0
その他	0	3	3
計	1	39	40

エ 行政報告事故の詳細

なし

(5) 令和7年度事業計画の達成度

ア 令和7年度基本方針に関して

(ア)「保育の質の向上」について

保育事業を委託している㈱アイグランとも「基本理念の理解、共有」を重要な課題として位置づけ、実践できるよう取り組み続けた。また、職員間で子どもや保護者の情報を細かく共有し、日々の保育につなげる環境づくりを図った。

(イ)「保護者対応の充実」について

子どもの様子をこまめに報告し、また、家庭での様子を保護者と共有することによって、より良い信頼関係を気付くよう取り組み続けた。

(ウ)「地域の子育て支援」について

地域枠の利用者の受け入れによって少しは貢献できた。新型コロナウイルス、インフルエンザなどの園内での感染・感染拡大を防ぐことを考え、新たな取り組みをすることはできなかった。

イ 令和7年度事業内容に関して

(ア)「質の高い保育を実践」について

- a ㈱アイグランとの定例会等を通して、保育現場での様々な課題を共有し、解決、発展させることができた。
- b ㈱アイグラン職員と法人とで子どもの個性や発達を共有し、それぞれに応じたきめ細やかな保育の実践に取り組むことができた。自らが受容されることで、自他ともに肯定できる子どもの姿を目指し、継続して取り組んでいく。

(イ)「保護者との連携・支援」について

- a 連絡帳を通して、園からの情報を分かりやすく伝達することができた。また、Instagramでの写真や動画配信を再開し、子どもたちの園での様子を具体的に示すことができ、保護者からも好評を得ている。また、保育参観や夏まつりなど保護者が参加できる行事を催した。
- b 担当保育士を中心に、それぞれの家庭環境を考慮した子育て支援を心がけ、保護者と連携を図ることができた。引き続き、保護者との信頼関係の構築やコミュニケーションの充実に力を入れていきたい。

(ウ)「地域の子育て支援」について

- a 地域の方のための「子育て相談室」に関しては、コロナウイルス感染症など、感染症対策を第一としたため、実践することができなかった。
- b 連携企業という制度を地域の企業に知らせたり、企業と園をつなぐネットワークに参加したりし、育児休業等からの復帰や入社がスムーズにできるよう支援した。連携企業の数が増加してきている。

(エ) 感染症対策について

- a 新型コロナウイルスだけでなく、他の感染症に対しても、子ども施設企画課、児童育成協会、厚生労働省からの最新の情報にアクセスし、それらに基づく対策の整備を都度行い、感染症対策に努めることができた。
- b 子ども、職員共に体調管理を徹底し、しっかりと感染症対策を行った。また、子ども、職員が感染症に罹患した場合、すぐに保護者、職員に情報を発信し、感染の拡大を防ぐことができた。

事業報告の附属明細書

令和7年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人 薫風会